

## 【自由記述のご紹介と質問事項への回答】

※ 紙面の関係で、内容の要約・語尾等の修正をさせていただきましたので、ご了承ください。

### 1 子どもの成長・学校の取組について

- ・担任の先生にはとても感謝しています。
- ・先生方や友達、サポートして下さる方々のかかわりのおかげで、勉強だけではなく、自分でできることが増え、友達とのやり取りなどからも、我が子の成長を感じています。
- ・帰宅してからも、よく話もしてくれて、学校生活が充実してるなあと感じます。
- ・地域の方々との関わりもあり、また経験をさせていただくことでたくさん学び、感じる事ができて 本当にありがたいです。
- ・日常生活やたくさんの行事を通して、役割を把握したり、きちんとやろうとする姿が見られます。驚くほど、成長を感じています。
- ・職場でも学校の話になるのですが、千塚小はすごくいろいろな事をやってくれていいなあと言われます。
- ・コロナ禍でもできることを見つけて、子どもたちのために先生方が懸命に準備や活動を工夫してくださり、先生方の姿を見て子どもたちはたくさんの事を感じているんだろうなと思います。また、先生方がとても団結しているようにも思います。
- ・放課後や休日の遊び方に問題があった時には、とても丁寧に対応していただき、感謝しています。大変お世話になりました。

#### 【回答】

学校の取組について、このようにとらえていただき、大変ありがたいです。今後も、子どもたちの成長のために、様々な活動を見直し、工夫をしながら、教職員で一丸となって取り組んでまいります。

### 2 自分の思いや意見の伝え合い・発表について

- ・「授業中、自分の思いや意見の伝え合い・発表」の設問について、人前で発表したり目立ったことをするのが苦手です。
- ・みんなの前で発表することが苦手であったり、自分は…と自信がない様子も見られますが、いろいろな活動を通して、できた喜びや達成感なども味わえるといいなと思います。
- ・自分がやることに不安がることも多いのですが、たくさんの経験をさせてもらう中で少しずつ自信をつけていければと思っています。

#### 【回答】

本校では、学校課題研究として、「自分の思いや考えを伝え合い、自分の考えをより深めることができる児童の育成 ～ICT機器を活用した学び合いの工夫を通して～」をテーマに取り組んでいます。子どもたちは、「一人で」「ペアで」「グループで」「クラス全体で」等の学習形態の他、「ノート」「ワークシート」「タブレット」等を用いて自分の考えを表現し、伝え合う学習を通して、少しずつ成長が見られます。今後も、自信のない子や苦手意識のある子も、挑戦しやすい環境を作れるよう、研究を深めていきたいと思っています。

### 3 食育について

- ・「好き嫌いなく食べている」の設問について、我が子は、出されたものは食べるが、できることなら避けるタイプです。

#### 【回答】

本校には、栄養教諭がいるので、担任と連携して「食育指導」にも力を入れています。これは、自分で食品を正しく選択して、自分の健康のためにバランスのよい食事ができるようにすることを目的に、発達の段階に応じて計画的に行っています。給食を無理に食べさせる指導はしていませんが、子どものうちに、いろいろな味や食品に慣れることが、大人になってからの豊かな食生活のためにも重要だと考えています。「給食だより」等でも情報発信していますので、参考にしていただけたら幸いです。

### 4 学校ホームページ(以下HPと表記)の閲覧について

- ・「週1度学校HPを閲覧している」の設問について、あることを忘れてしまいがちで、見るときはまとめて見えています。

#### 【回答】

特色ある家庭や地域との連携・協働を進めていくために、HPや各種たよりの内容を工夫して発信しています。特にHPの「学校ニュース」のコーナーに、職員は月3回程度の記事をアップするようにしています。子どもたちや教職員の様子、授業や休み時間・校外での活動のこと、PTA活動やアシストネットボランティア・地域の皆様のこと、季節の話題などについて取り上げ、ほぼ毎日更新しています。子どもたちも、学校でタブレットを用いて閲覧することもあります。ご家族の皆様には、スマートフォンからご覧いただけますので、「お気に入り」に登録していただき、お時間のあるときにご覧いただき、ご家庭で学校の出来事についてお話しする材料にいただけたら嬉しいです。

## 5 登下校について

・登校班で歩いて登校させたいと考えていますが、各ご家庭の都合で車での送迎になることが多く、困っています。それぞれの事情もあると思うので仕方ないのかと思いますが、  
母親が学校まで徒歩で送ると、仕事の時間に間に合わなくなるので、どうしたらよいか考えています。

【回答】

学校では、特別なご事情のある場合を除いて、「歩いて登下校」を原則として指導しています。荷物を抱えて歩くことで、たくましい体と心を育てることにつながり、また傘を差して、水たまりや前後方に注意しながら歩くことは、とても大切な学習の機会であると考えています。しかしながら、昨今の「不審者等の情報」による見守りや、急な天候の変化による車での送迎をいただくことで、子どもたちの安全・安心が守られる場合もございます。各家庭のご事情により、車での送迎になる場合には、同じ登下校班の方と連絡を取り合い、「一人で歩く」ことのないようご配慮いただきたく、お願いいたします。

## 6 教職員の話し方について

・幼稚園の先生のような話し方、電話の伝え方のように感じます。内容を精査してからお知らせいただきたいです。子どもたちへの接し方が幼稚園の延長のようにならないよう、子どもが「自分で取り組もう」と思うような対応をしてほしいと思います。

・言葉遣いが悪い先生がいるようです。怒るのは構いませんが、怒り方にもいろいろあると思いますので、気をつけていただきたいと思います。

【回答】

教職員の話し方については、日々研修を重ね、人権意識を高めながら注意して取り組んでいるところです。もし気になる言動等がありましたら、具体的にお伝えいただくと、改善することにつながりますので、可能な範囲で担任や担当本人へお話してください。言いにくい場合には、校長や教頭にご相談いただきたく、お願いいたします。

## 7 withコロナの生活について

・コロナ禍の対応で先生方も日々大変なことと思います。これからはwithコロナの世の中になり、閉ざされていたイベントが形をかえて戻ってくると大変嬉しく思います。誰もが望んでいますが、子どもたちが一番待ち望んだ学校生活の姿だと、期待をしています。

【回答】

現在、コロナ禍での諸行事のもち方と、コロナ収束後についても検討しながら計画しているところです。単純にコロナ前に戻るのではなく、「より有意義な学び」「時間対効果」等を考慮しながら、本校ならではの特色ある取組をしていきたいと考えています。諸行事後のアンケートや懇談会等の際に保護者の皆様のご意見をいただきながら進めてまいりますので、どうぞよろしくごお願いいたします。

## 8 学ぶ意欲について

・もう少し学習に興味関心を持ち意欲的に取り組める環境があってもよいのかと思います。やらなければいけないことを優先するのではなく、時代の流れに沿って、他にも興味をもってもらい、学ぶことの幅を広げ、もっと学びたい姿勢がある子が全体的に増えてくればいいと思います。子どもには学ぶ環境が大切です。

【回答】

おっしゃるとおりです。本校でも、子どもたちの学ぶ意欲を高めようと様々な工夫をしているところです。授業改善によって変容する手応えを感じているところですが、子どもによって個人差も大きいのも現状です。どんな声掛けが有効か、やる気スイッチの入るタイミングは、人それぞれ異なる部分もありますので、担任に具体的にお知らせいただくと参考にさせていただきたいと思います。

## 9 タブレットの持ち帰りについて

ランドセルが重く、荷物も多く、家が遠い子の登下校が大変だと感じています。タブレットの持ち帰りは、家にパソコンやタブレットがある子は持ち帰らなくても良いなどとなれば有難いのですが…

【回答】

今は、タブレットの使い方に慣れるという目的もあることと、「Teamsのビデオ会議」等、学校のタブレットでなければできない機能もあることから、持ち帰って使用していただいているところです。タブレットを持ち帰る日の荷物の重さは、全国共通の課題になっていることから、本校でも他の荷物の精選をしたり、教科書を学校に置いていくようにしたりしています。今後持ち帰る曜日の検討をしていきたいと思っております。